

2026 年 2 月 22 日作成 Ver.1

《情報公開文書》

顎変形症患者における手術前後の
骨格的变化に関する研究

研究の概要

【背景】

顎変形症は、上下顎骨の成長発育の不調和や位置異常により顔貌および咬合に機能的・審美的障害を生じる疾患であり、成長終了後に外科的矯正治療が行われます。近年、三次元画像診断やデジタルシミュレーション技術の進歩により、術前計画の精度は向上していますが、術式や術前骨格形態が術後の骨格的安定性に及ぼす影響については十分な検討がなされていません。

【目的】

術式および術前骨格形態が術後骨格的安定性に及ぼす影響を三次元的かつ経時的に評価し、長期的安定性を予測する指標を明らかにすることを目的とします。また、主訴の違いと術後咬合および骨片安定性との関連についても検討します。

【意義】

本研究により、術後安定性を予測する客観的指標が明らかになれば、術式選択の最適化や治療計画立案の精度向上につながり、将来的な顎変形症治療の質の向上に寄与すると考えられます。

【方法】

過去に顎矯正手術を受けた患者さんの診療録および画像データを用いて、術前・術直後・術後経過時の三次元的骨格変化および咬合変化を解析します。統計学的手法を用いて、術式や術前の骨格形態と術後安定性との関連を検討します。

対象となる患者さん

長崎大学病院口腔外科において、
2010 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に顎変形症と診断され、顎矯正手術を受けた患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・年齢、性別
- ・診断名、主訴
- ・術式の種類、手術内容
- ・術前・術後の画像データ（CT、セファログラム等）
- ・咬合状態の記録
- ・術後経過に関する記録

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 5 月 28 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030 年 3 月 3 1 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 口腔外科
	氏名：井村 英人
情報の管理責任者	住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
	電話：095（819）7698
長崎大学病院 病院長	

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 口腔外科 井村 英人

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7698 FAX 095（819）7700

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間 : 月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）